

平成26年
12月定例会
12月5日から19日までの15日間の日程で開催されました。

補正予算 2億6,119万円を増額 4月から「恋ぼたる」は新しい指定管理者へ

勤労者家庭支援施設を中央公民館へ統合

主な議案と質疑

12月定例会では、議案28件(意見書、人事案件含)が提案され、審議の結果すべて可決しました。補正予算では、人事院勧告に準じる職員給与等の増額等を可決、指定管理者の指定については、恋ぼたる(筑後市県営筑後広域公園内休憩施設及び売店)の指定期間満了により、4月から5年間の管理運営を委託する業者を決定しました。また、サンコア(勤労者家庭支援施設)の管理、運営は中央公民館へ統合されることになりました。

* 指定管理者制度とは、地方自治体が所管する公の施設について、管理運営を民間会社等の法人やその他の団体に委託することができる制度。

問 指定管理者が替わることで、これまでの出荷者や従業員が不安になることのないよう、市として配慮してもらいたい。27年度当初は、販売手数料等、現在の条件を



指定管理者が替わる「恋ぼたる」

答 27年度当初は、販売手数料等、現在の条件を
問 指定管理者が替わることで、これまでの出荷者や従業員が不安になることのないよう、市として配慮してもらいたい。
答 27年度当初は、販売手数料等、現在の条件を

問 現在利用されている市民や団体への影響は。
答 勤労者家庭支援施設で担ってきた男女共同参画や女性相談等の事業は、平成23年度にできた男女共同参画推進室へ移管している。現在行っている事業は、中央公民館で行うため、市民や団体への影響はないと判断している。
問 当初、勤労者家庭支援施設を建設する際に利



中央公民館へ統合される勤労者家庭支援施設

問 現在利用されている市民や団体への影響は。
答 勤労者家庭支援施設(当時名称「勤労婦人センター」)は昭和56年に、国・県の補助金を利用して建設した。「中央公民館建設」では、補助金の利用ができないという理由もあった。今回、既存施設を有効利用することであれば施設の変更による補助金の返還は生じないことを確認している。

問 指定管理者が替わることで、これまでの出荷者や従業員が不安になることのないよう、市として配慮してもらいたい。
答 27年度当初は、販売手数料等、現在の条件を

問 指定管理者が替わることで、これまでの出荷者や従業員が不安になることのないよう、市として配慮してもらいたい。
答 27年度当初は、販売手数料等、現在の条件を

問 指定管理者が替わることで、これまでの出荷者や従業員が不安になることのないよう、市として配慮してもらいたい。
答 27年度当初は、販売手数料等、現在の条件を

問 損害賠償の額について、市と業者それぞれ半分を負担することになった。
答 市と業者両方が訴えられているため協議の上、半分ずつを負担することになった。

問 損害賠償の額について、市と業者それぞれ半分を負担することになった。
答 市と業者両方が訴えられているため協議の上、半分ずつを負担することになった。



診断後伐採された街路樹

問 今回、業者が管理責任を問われているが、市から委託を受けている業者は、樹木の管理についてどこまで責任を負うのか。
答 業者に対し、枯れている樹木などは市へ報告するよう求めている。報告があれば、抜根、伐採等を行っている。今回はそういった対応ができていなかった。

問 今回、業者が管理責任を問われているが、市から委託を受けている業者は、樹木の管理についてどこまで責任を負うのか。
答 業者に対し、枯れている樹木などは市へ報告するよう求めている。報告があれば、抜根、伐採等を行っている。今回はそういった対応ができていなかった。

問 今回、業者が管理責任を問われているが、市から委託を受けている業者は、樹木の管理についてどこまで責任を負うのか。
答 業者に対し、枯れている樹木などは市へ報告するよう求めている。報告があれば、抜根、伐採等を行っている。今回はそういった対応ができていなかった。